

# 奈良高専生協 生協説明会・制服採寸会



[ 新学期 ]

## 取り組み概要

日時：21/03/4.9  
 場所：奈良高専の教室  
 参加者の反応  
 「学生の声を聞いて良かった」の反応が  
 多く見られた。

背景や概要

生協説明会：事前予約制で参加者を募集し、生協についてや学生生活についてお話ししていた。  
 制服採寸会：新入生の制服採寸を行う傍ら、個別相談のブースやPC・電子辞書などのブースを同じ教室に配置していた。

新入生・保護者にいかに寄り添うか

### POINT.1

### 学生の声を届けることにこだわる



昨年度、奈良高専生協は新型コロナウイルスの影響で生協説明会を実施することができませんでした。さらに今年度は生協学生同好会の人数が減少した影響で、学生が生協説明会で発表することが難しい現状でした。このような中で生協職員と生協学生同好会が話す生協説明会にすることができました。当日のアンケートの「何を聞きにきましたか？」の欄に「学生の声を聞きにきました」という声がたくさん寄せられていました。また記述欄にも「学生の声を聞いて良かったです」と挙げられていました。学生の声を届けることにこだわったことで、新入生・保護者が聞きたい話を提供することができ、新入生・保護者に寄り添った提案になりました。

### POINT.2

### 学生とのつながりを作る

しかし、今回新型コロナウイルス感染対策の一環で、学生と新入生・保護者は対面での接触をしませんでした。制服採寸会の際には会場の個別相談ブースにPCを置き、学生はZOOMを通して別室で新入生・保護者の相談に答えていました。個別相談ブースは列ができるほど好評でした。学生の声を新入生・保護者が聞きたいことを再確認しましたし、直接関われない中でも、形を変えて交流できる場を作ることで、新入生・保護者一人ひとりに寄り添おうとしているところが教訓的だと思いました。



### POINT.3

### 参加の連鎖を生む工夫



午前中に生協説明会、午後から制服採寸会だったのですが、午後の制服採寸会を参加しに来ている新入生・保護者が多いです。同日に生協説明会を開催することによって、定員まで申し込みがあったことにつながったのではないかと思います。また午前中の生協説明会では食堂の500円券を配布することで、食堂への誘導も行っていました。

制服採寸会では、同じ部屋に生協・共済ブースやPC・電子辞書のブース、学生による個別相談ブースを設けていました。午前中の提案を深掘りできる場ですね。

このように動線を工夫することで、新入生・保護者の参加を促進し、様々な提案ができるようになりますね。